



## スケーラブルなグローバルクラウドソリューション、自動アップグレード、相通じる企業文化

Workday ヒューマン キャピタル マネジメントというグローバルクラウドプラットフォームを導入したことにより、エアアジアは HR 変革の取り組みを加速する力を得ることができました。

### 課題

エアアジアは地域の航空会社から国際的な企業へと急成長を遂げ、新しいビジネスの立ち上げやさらなる計画を進めています。そのため、同社の社員つまり「オールスター」は自ずと、オフィス外の現場で業務を行うことが増えました。実際、オールスターの半数以上は現場で業務にあたっており、地上でメンテナンス業務を行う者もいれば、40,000 フィート上空の機上で勤務する乗務員もいます。会社の成長スピードが、使っていたオンプレミスHRシステムの能力を超えてしまいました。このシステムは他の各種システムと連携もできず、多くのプロセスが紙ベースで処理されていました。そのため、国や言語の壁を越えて基本的なHRデータにアクセスしたり、HR システムを世界規模で拡張したりすることが難しかったのです。

“

その企業文化や管理体制、取り組み方が 当社の価値観と合致していたのです。

**Varun Bhatia 氏**

エアアジア社 人財および企業文化の最高責任者

### Workdayを導入した理由

組織の成長を後押しし、当社の主軸である旅行事業の多角化を進めるには、Workday ヒューマンキャピタルマネジメントのグローバルでひとつに統合されているクラウドソリューションが、ふさわしいと考えたのです。システムが定期的にアップデートされることも、魅力の1 つでした。エアアジアに Workday が選ばれたもう1つの理由は、両社の企業文化に相通じるものがあったことです。「Workdayをパートナーに選んだのは、当社と同じく業界の創造的破壊者だからです。ある種のシナジーが感じられ、企業として通じるものがあります」と、エアアジアの人事テクノロジー担当者であるAnanda Ramachandran氏は述べました。



### Overview

- マレーシア国内の航空会社だったエアアジアは、アジアをリードするローコストキャリア (LCC) へと成長し、今やアジア太平洋地域の 130 以上の都市を結ぶまでになりました。
- 最新機種を 274 機保有し、400 を超える航空路線で、25 か国の 150 以上の都市を結んでいます。

### 利点

エアアジアは 20,000 名以上の「オールスター」が在籍している 23 か国の拠点のほぼすべてに、Workday ヒューマン キャピタル マネジメントをスケジュールどおりに予算内で導入することに成功しました。導入した直後のオールスターからの評判は非常に良く、これは現在に至るまで続いています。Workday ヒューマン キャピタル マネジメントの利点は次のようなものです。

- 組織全体の可視性と透明性を改善する
- 移動の多い従業員のアジリティ、スピード、効率性を高める
- 変化の絶えないニーズに適應する
- 設定が容易
- 国際事業の拡大に対応できるスケラビリティ
- 社員データの標準化によってプロセスおよびワークフローを簡略化する

### Workday Applications

- Human Capital Management
- Time Tracking
- Learning
- Recruiting

## 詳細 / 結果

この HR 変革は、同社の壮大なビジョン「エアアジア 3.0」、すなわち「エアアジアをその世界中にある拠点で多彩な事業を展開するトラベルテクノロジー企業という新たなレベルに進化させる」というビジョンの鍵となります。導入の効果は以下の通りです。

- 十分な情報を得られることで、よりの確な意思決定が可能になった
- 移動先からでもシステムに接続できるので、従業員の効率と士気が大幅に高まった
- 将来に向けた準備が万全になり、エアアジア 3.0 ビジョンの実現に向けて順調に進められる体制が整った

### 経営陣の意思決定のサポート

Workday ヒューマン キャピタル マネジメントを導入したことにより、経営陣と人事部門はより詳細かつ明確に組織を把握し、十分な情報に基づいてよりの確な意思決定を行えるようになりました。同社の経営陣がエアアジア3.0ビジョンを実現するうえで、詳細かつ明確なデータは不可欠なものでした。分断されたワークフローや紙ベースのプロセスでは拡張性に欠けており、そういった大きな目標の達成が妨げられます。手作業のやりとりを不要にすることで、時間や資金に関わるミス、ひいては顧客の不満が発生することもなくなっています。

### オールスターがつながることで効率性と生産性がアップ

Workday ヒューマン キャピタル マネジメントが導入されたことにより、社員は自身の情報に安全にアクセスできるようになりました。また、役割ベースで付与された権限に応じて、関連する会社情報にもアクセスできます。例：

- データの標準化により、ワークフローとプロセスの効率性が向上する
- 社員とマネージャの時間の節約により、生産性が大幅に向上する

エアアジアでは、20,000 人を超えるオールスターの半数以上が移動の多い職種に就いています。それでも、ネットワーク接続さえあれば、従業員はいつでも、どこからでも多様なデバイスを使用して情報にアクセスできます。40,000 フィート上空の機上で勤務する乗務員でも同じです。「Workday ヒューマン キャピタル マネジメントのクラウド プラットフォームのおかげで、現場を飛び回る従業員もモバイル機器を使ってアジャイルにビジネス プロセスに参加できるようになりました」と、エアアジアの ICT プロダクト マネージャであるManson Chan氏は語ります。

### 将来に備える

エアアジアは航空業界の創造的破壊者としての地位からさらにその羽を伸ばし、エアアジア 3.0 ビジョンのもとで多様な旅行関連事業への進出を計画しています。それと同時に、主力の航空事業では引き続き、お客様に価値や喜びを感じていただけるようにする必要があります。スケーラブルなグローバルクラウドプラットフォームであるWorkdayヒューマン キャピタル マネジメントは、エアアジアとともに成長を続けます。アップグレード、セキュリティ、メンテナンスについてはすべてお任せください。これによって IT 部門は戦略的なプロジェクトに専念し、より大きな成功につなげていくことができます。同社はまた、グローバルのユーザーコミュニティであるWorkdayコミュニティにも参加して充実したサポートを受けています。

“

経営陣は組織に関する状況を詳細かつ明確に把握できるようになり、部門間の問題や人事異動について、断片的な情報ではなく十分なデータに基づいて判断を下せるようになりました。その結果、迅速で容易、かつ効果的に意思決定が行えるようになりました」

**Varun Bhatia 氏**

エアアジア社 人財および企業文化の

“

Workdayを導入して得られた効果を振り返ってみると、従業員のエンゲージメントの向上が挙げられます。従業員はどこにいてもデータに簡単にアクセスできるようになり、データを活用する力をも手に入れたのです。

“

Workdayは1年に2回更新されます。時間、コスト、手間を考えれば、新規のシステムを導入するのに匹敵するほどの価値があります。これはWorkdayの素晴らしい魅力の1つです。

**Ananda Ramachandran 氏**

エアアジア社 人事テクノロジー担当

